

不易流行

～和賀組社長からのメッセージ～

VOL.74 (2022.5.27)

令和4年度スローガン
みんなで目指す顧客感動経営
生産性とエンゲージメントの向上
～和賀組さんで良かったと言われよう～

株式会社和賀組 代表取締役 和賀幸雄

2004年(平成16年)に秋田県立横手清陵学院高等学校が開校したことにより、二年後の平成18年に横手工業高校は60年の歴史に幕を下ろしました。電気・機械・土木・建築・インテリア・工業化学など6学科を擁する工業高校として、秋田県内外の企業・行政機関にエンジニアを供給してきた同校の存在は地域にとっても大きな存在でした。中でも建設系の土木・建築・インテリアの卒業生(3科最多時期で約120名)は地元建設会社にも多く就職し、県土整備の最前線で現在多くの卒業生が活躍しており、当社でも8名が在籍しております。

中高一貫校で普通科・総合技術科の2学科でスタートした横手清陵学院ですが、電気・機械・環境(土木・建築)で2クラスしかなく、環境系を選択する生徒は毎年20名くらいとなっております。つまり横手工業高校時代と比較すると1/6の卒業生しか輩出されていないことになります。また当社所在地の湯沢雄勝地域には以前から環境系を学べる工業高校は無く、さらに通学手段が保護者の送迎が多くなった現在では、湯沢雄勝地域から横手清陵学院に進学する生徒も大幅に減少しております。つまり土木・建築を学んだ高校生を採用することが近年大変困難な状況にあるのです。

湯沢翔北高校雄勝校において今年4月より、2年次のコースとして「測量」が選択できるようになりました。レベル等の機材を寄付したことは以前にお伝えしましたが、5月からおよそ月に1度のペースで実習の補助として(一社)雄勝建設業協会

が協力することになっております。18日に第1回目として当社建築部の小野寺健太君が講師を務め、測量の種類や測量機械の紹介、距離測量の実習を行い、テレビや5月22日の秋田さきがけ新聞でも大きく取り上げられました。

5年以上にわたり湯沢商工会議所・建設業協会が一体となって秋田県に要望して参りましたが、ここまでこぎつけたことに深く感慨を覚えます。多くの高校生が地元建設業に就いてくれることを切に願います。



第21回社内施工技術発表会



5月13日に開催された発表会では、最優秀賞に

「生活協同組合コープあきた湯沢センター 新築工事」が選出され、現場担当の菅孝光君が最優秀賞を受賞。厳しい工期と予算の中で結果を出し、施主様・設計事務所から高い評価を頂いた点などが評価されました。参考になる点が多かったと思います。

湯沢雄勝北都会

第46回湯沢雄勝北都会



5月14日湯沢グランドホテルにて北都会が開催され、菅義偉前総理大臣に講演を頂きました。昨年の9月まで国のトップを務めた菅先生のお話は、湯沢から東京に出たときの話から、ウクライナへのロシア侵攻まで大変興味深い内容でありました。成瀬ダムの定礎式に出席された後に湯沢入りして頂きました。

ハイスピード全国大会

5/20 三年ぶりに東京目黒雅叙園にて開催され、北海道東北エリアでトップの賞を頂きました。また施工報告書の提出スピードと正確さが評価され技術部門の優秀賞も頂きました。全国は4位でした。

